

## 編集後記

二〇一二年度は本学新名古屋キャンパスの開校をもって始まった。このできごとが本学にとっては大きな節目となることはいうまでもない。「大学の自治」が「質保証」の名のもとに変容しつつあるとも感じられる現在、名古屋・豊橋それぞれのキャンパスがともに展開していくような将来構想が求められているといえよう。

新キャンパス開校にともなう経済学部・国際コミュニケーション学部は豊橋から名古屋へ移転したが、人文社会系の教員を中心にしていく文学会の活動自体には変わりはない。本年度からはこれをさらに進展させることを目的とした、文学会自体の将来構想についての議論も始まりつつある。

この「文学論叢」には従来同様に多様な分野の論考が掲載されている。年二回発行の本誌がこれまでたゆまず発行されていることは文学会の活動の一環としても、教員の研究活動の場としても確固とした位置を占めていることを表しており、敬意を表したい。今後の継続的な刊行と隆盛を願いたい。

(K)

平成二十四年七月二十日 印刷  
平成二十四年七月三十一日 発行

編者 愛知大学文学会

代表者 伊東利勝

印刷所 豊橋市嵩山町  
株式会社 豊橋印刷社

発行所 豊橋市町畑町  
愛知大学文学会

振込〇八九店当座一〇〇四五五六五四